

3. 事業概要

(1) 常設展示

常設展示室は全体で5室の構成となっている。第1室は「山梨の文学風土」と「樋口一葉」コーナー、第2室は「山梨出身ゆかりの作家と作品」、第3室は「芥川龍之介」コーナー、第4室は「飯田蛇笏・飯田龍太記念室」、第5室は山梨出身・ゆかりの作家104名をジャンルごとに年2回入れ替えて紹介している。

常設展示室の第1～4室は、下記のとおり年4回テーマを設定して一部の資料の入れ替えを行った。毎回、20～30点ほどのテーマに関わる資料を常設展の見どころとして表示・解説を加えた。資料一覧には、この期間中、出品された資料全てを提示した。

- 4月17日（土）～6月25日（金）「デビューの頃」
- 6月26日（土）～9月30日（木）「子どもの風景」
- 10月1日（金）～12月26日（日）「映画と舞台になった作品」
- 1月2日（日）～3月18日（金）「友情の手紙」

第1室

山梨の文学風土

甲斐のうた（パネル展示）

酒折の宮／塩の山・差出の磯／都留の郡／山梨の岡

松尾芭蕉と甲州

杉山杉風「芭蕉翁馬上吟図」軸装〈複製〉原本 天理大学附属天理図書館蔵
松尾芭蕉 森川許六宛書簡 元禄5年11月13日 軸装〈複製〉原本 個人蔵
高山麿時 一瀬調実宛書簡 年不明12月19日〈複製〉原本 個人蔵
猪来編『蓑虫庵小集』文政7年自序〈複製〉原本 天理大学附属天理図書館蔵

甲州の紀行文

深草元政『身延道の記』元禄17年刊
荻生徂徠『徂徠集』卷之十五 元文元年序文「峡中紀行」収録
賀茂季鷹『富士日記』文政6年刊

甲府学問所 徽典館

甲府勤番支配宛 徽典館学頭任命通知書
乙骨耐軒「維新亨齋詩初稿」
乙骨耐軒「甲役途中詩」

国学を学んだ人々

萩原元克編『甲斐名勝志』天明3年9月刊
萩原元克「うまひとの」短冊
本居宣長点 辻守瓶「春十首」和歌

樋口一葉（ひぐち いちよう）

「たけくらべ」原稿〈複製〉
「文芸倶楽部」第2巻第5号 1896（明治29）年4月
一葉愛用の筆立て
下村為山 樋口一葉肖像
馬場孤蝶「一葉の住みし町なり夕時雨」幅
樋口一葉「本郷五丁目」草稿幅
樋口一葉「さゞれ石の」短冊幅

木村莊八「たけくらべ絵巻」画稿（筆屋）
新五千円札（A000006A番）
青海学校小学高等科第四級卒業證書
吉川学校下等小学第八級卒業証書
一葉愛用の髪飾り・櫛・こうがい
一葉旧蔵 小扇
写真パネル 母多喜・奈津（7歳頃）・姉ふじ・妹くに 本郷6丁目5番屋敷時代
写真パネル 萩の舎集合写真
一葉筆手習い帖「徒然草」
写真パネル 半井桃水
写真パネル 竹内桂舟 画「うもれ木」第7回挿絵
樋口一葉「闇桜」未定稿〈複製〉原本 台東区立一葉記念館
「武蔵野」第1輯 1892（明治25）年3月 今古堂
「武蔵野」第2・3輯 1892（明治25）年4・7月 今古堂〈復刻〉
樋口一葉 桃水宛書簡1892（明治25）年秋
樋口虎之助作 薩摩焼絵付皿
仕入れ帖 1893（明治26）年8月
仕入れ帖 1893（明治26）年8月〈複製〉
写真パネル 文学界同人
樋口一葉「にぎりえ」未定稿
「文芸倶楽部」第1巻第9編 1895（明治28）年9月
「太陽」第1巻第5号 1895（明治28）年5月
樋口一葉「ゆく雲」未定稿
写真パネル 一葉女史の碑建碑の日 1922（大正11）年10月15日
大橋乙羽編『一葉全集』『校訂一葉全集』
映画「たけくらべ」パンフレット 1955（昭和30）年 新東宝
「大つごもり」台本 1971（昭和46）年11月 新橋演舞場 樋口一葉生誕百年記念公演
こまつ座第41回公演「頭痛肩こり樋口一葉」ちらし 1996（平成8）年9月 新宿・紀伊國屋ホール
井上ひさし『頭痛 肩こり 樋口一葉』1984（昭和59）年4月 集英社
「にぎりえ」ポスター 1998（平成10）年 帝国劇場
映画「にぎりえ」ちらし 1958（昭和33）年 文学座・新世紀映画
「にぎりえ」台本 1962（昭和37）年9月 新橋演舞場
樋口一葉 田辺龍子宛書簡 1892（明治25）年8月4日〈複製〉
鏑木清方「大黒屋の美登利」軸

第2室

井伏鱒二（いぶせ ますじ）

井伏鱒二「今宵は仲秋明月初恋を偲ぶ夜 われら萬障くりあはせよしの屋でひとり酒をのむ」軸
井伏鱒二「歳末閑居一節」額
井伏鱒二「歓酒」対幅〈複製〉
「文藝都市」1929（昭和4）年5月
井伏鱒二『山椒魚』1976（昭和51）年9月 成瀬書房
井伏鱒二『夜ふけと梅の花』1930（昭和5）年4月 新潮社
井伏鱒二「旧・笛吹川の趾地」原稿〈複製〉
井伏鱒二「波高島」原稿〈複製〉
井伏鱒二『侘助』1946（昭和21）年12月 鎌倉文庫
井伏鱒二『黒い雨』1966（昭和41）年10月 新潮社
写真パネル 栃代川にて 飯田龍太と 1963年4月16日
愛用の釣り竿と魚籠

井伏鱒二『小黒坂の猪』1974（昭和49）年7月 筑摩書房
井伏鱒二『岳麓点描』1986（昭和61）年4月 弥生書房
井伏鱒二 翻訳「ドリトル先生」シリーズ
白根美代子 画『トートーという犬』挿絵原画
井伏鱒二『トートーという犬』1988（昭和63）年7月 牧羊社
映画「黒い雨」ポスター
映画「黒い雨」パンフレット

太宰 治（だざい おさむ）

「細胞文藝」創刊号 1928（昭和3）年5月
「鷗」第1輯 1934（昭和9）年4月
写真パネル 石原家の人々と 1939（昭和14）年元旦
太宰治 井伏鱒二宛書簡 1938（昭和13）年10月25日消印（複製）
「文体」第2巻第2号 1939（昭和14）年2月
太宰治『女生徒』1939（昭和14）年4月 砂子屋書房
太宰治『愛と美について』1939（昭和14）年5月 竹村書房
太宰治『右大臣実朝』1943（昭和18）年9月 錦城出版社
太宰治「陰火」原稿（複製）
太宰治『晩年』1936（昭和11）年6月 砂子屋書房
太宰治「斜陽」草稿（複製）
太宰治文学碑「富士には月見草がよく似合ふ」（表面）拓本幅
太宰治文学碑 撰文（表面）拓本幅
太宰治『パンドラの匣』1946（昭和21）年6月 河北新報社
映画「パンドラの匣」パンフレット 2009（平成21）年 東京テアトル
太宰治『ヴィヨンの妻』1947（昭和22）年8月 筑摩書房
映画「ヴィヨンの妻」パンフレット 2009（平成21）年 東宝
太宰治『人間失格』1948（昭和23）年7月 筑摩書房
映画「人間失格」パンフレット 2010（平成22）年 角川映画
こまつ座第19回公演「人間合格」台本 1989（平成元）年12月 紀伊國屋ホール
太宰治 高田英之助宛はがき 1939（昭和14）年1月11日（複製）
太宰治 高田英之助宛書簡 1939（昭和14）年1月17日（複製）

檀 一雄（だん かずお）

檀一雄 自画像 額装
檀一雄「太郎生後九十四日」額（複製）
「鷗」第1・2輯 1934（昭和9）年4・7月
「青い花」1934（昭和9）年12月
「日本浪漫派」第1巻第9号 1935（昭和10）年12月
檀一雄 中国でのスケッチブック
檀一雄「旅立ち」原稿（複製）
檀一雄『リツ子・その愛』『リツ子・その死』1950（昭和25）年4月 作品社
檀一雄『長恨歌』1951（昭和26）年3月 文藝春秋社
檀一雄『真説石川五右衛門』1951（昭和26）年9月 新潮社
檀一雄「蠟涙」原稿「新潮」1963（昭和38）年6月掲載
写真パネル 能古島の草庵「月壺洞」にて 1975（昭和50）年
檀一雄「モガリ笛いく夜もがらせ花に逢はん」色紙
檀一雄「微笑」（『火宅の人』第1章）原稿（複製）
檀一雄「微笑」（『火宅の人』第1章）原稿（複製）
映画「火宅の人」パンフレット 1986（昭和61）年4月 東映
映画「火宅の人」ポスター 1986（昭和61）年 東映

玉井徳太郎 画『少年猿飛佐助』挿絵原画
尾崎一雄 檀一雄宛書簡 1949（昭和24）年（推定）1月18日

山本周五郎（やまもと しゅうごろう）

写真パネル 秋山青磁 撮影
映画「五瓣の椿」ポスター 1964（昭和39）年 松竹
映画「赤ひげ」ポスター 1965（昭和40）年 東宝
山本周五郎「夏草戦記」原稿（複製）
山本周五郎『夏草戦記』1945（昭和20）年3月 八雲書店
山本周五郎『山彦乙女』1952（昭和27）年2月 朝日新聞社
「講談倶楽部」第11巻第9号 1959（昭和34）年9月
山本周五郎『五瓣の椿』1959（昭和34）年9月 講談社
山本周五郎『樅ノ木は残った』（全）1969（昭和44）年8月 講談社
山本周五郎『甲州小説集』1974（昭和49）年8月 実業之日本社
山本周五郎「わが野鳥たち」原稿（複製）
初期草稿「染血桜田門外」草稿（村上幽鬼）
初期草稿「酔漢とその細君」草稿（清水きよし）
「文藝春秋」第4年第4号 1926（大正15）年4月「須磨寺附近」
「演劇新潮」第1巻第3号 1926（大正15）年6月「法林寺異記」
山本周五郎『内蔵允留守』1942（昭和17）年3月 成武堂
山本周五郎『戦国少年期』1942（昭和17）年3月 鶴書房
山本周五郎『シャーロック・ホームズ』「新少年」別冊附録 1935（昭和10）年12月
山本周五郎『赤ひげ診療譚』1959（昭和34）年2月 文藝春秋新社
映画「赤ひげ」パンフレット 1965（昭和40）年 東宝
山本周五郎『さぶ』1963（昭和38）年8月 新潮社
「さぶ」ちらし 2003（平成15）年1月 新橋演舞場
山本周五郎『季節のない街』1962（昭和37）年12月 文藝春秋新社
映画「どですかでん」ポスター・パンフレット 1970（昭和45）年 東宝
山本周五郎「おごそかな渴き」原稿
山本周五郎「青べか物語」原稿（複製）原本 県立神奈川近代文学館蔵

深沢七郎（ふかさわ しちろう）

深沢七郎 今川焼屋「夢屋」ポスター
深沢七郎「檀山節考」原稿（複製）
「中央公論」第71年第12号 1956（昭和31）年11月
深沢七郎『檀山節考』1957（昭和32）年2月 中央公論社
『檀山節考』出版記念会次第
松竹映画「檀山節考」プログラム 1958（昭和33）年4月 映画タイムス社
深沢七郎「笛吹川」原稿（複製）
深沢七郎『笛吹川』1958（昭和33）年4月 中央公論社
深沢七郎作 井伏鱒二に贈った将棋駒台
深沢七郎『甲州子守唄』1965（昭和40）年3月 講談社
映画「檀山節考」ポスター・パンフレット 1983年

山崎方代（やまざき ほうだい）

山崎方代「ふるさとの右左口郵は骨壺の底にゆられて吾がかえる村」幅
山崎方代「右左口路」幅
山崎方代「詩一つ」額
山崎方代「不二が笑つてゐる石が笑つてゐる笛吹川がつぶやいてゐる」幅

写真パネル 湯川晃敏氏撮影肖像

山崎方代「フランソワ・ヴィヨンの詩鈔ふところに一ツ木町を追われゆくなり」短冊

山崎方代「方代一日が暮れて朝が来て又ふあふあと日が開けてゆく」色紙

山崎方代「ふるさとの右左口郵は骨壺の底にゆられてあが帰る村」色紙

山崎方代「まつ黒くすみわたる馬の目の中に釜無川が流れている」短冊

山崎方代「茶碗の底に梅干の種二つ並びをるこれが愛といふものなのだ」短冊

山崎方代「山川草木」一枚物

山崎方代「なんじゃもんじゃの木」草稿

山崎方代「わが歌の秘密」草稿 その1〈複製〉

方代旧蔵『ヴィヨン詩鈔』〈複製〉

山崎方代愛用の品（太筆2本 徳利 ぐいのみ 眼鏡 懐中時計）

山崎方代『方代』1955（昭和30）年10月 山上社

山崎方代『こおろぎ』1980（昭和55）年11月 短歌新聞社

中村星湖（なかむら せいこ）

中村星湖「少年行」原稿〈複製〉

「早稲田文学」第18号 1907（明治40）年5月

中村星湖『少年行』現代代表作叢書第12篇 1915（大正4）年10月 植竹書院

中村星湖『少年行』代表的名作選集30 1925（昭和50）年12月52版 初版1918（大正7）年6月
新潮社

島崎藤村 中村星湖宛葉書 1921（大正10）年12月17日

相馬御風 中村星湖宛書簡 1940（昭和15）年12月15日

中村星湖訳『ポブリイ夫人』1916（大正5）年6月 早稲田大学出版部

前田 晁（まえだ あきら）

田山花袋筆「文章世界」創刊号立案〈複製〉

小出楯重画「文章世界」第15巻第11号表紙原画〈複製〉1920（大正9）年11月

「人物評論」第1年第10号 1933（昭和8）年12月

前田晁『少年国史物語』原稿〈複製〉

前田晁訳『愛の学校』世界名作文庫 1948（昭和23）年12月 実業之日本社

三井甲之（みつい こうし）

伊藤左千夫 三井甲之宛書簡1906（明治39）（推定）年1月11日

「アカネ」創刊号表紙原案 1908（明治41）年2月

長塚節 三井甲之宛書簡 1908（明治41）年（推定）1月8日〈複製〉

三井甲之訳『フェウスト』1930（昭和5）年

三井甲之愛用の筆立てと眼鏡

中里介山（なかざと かいざん）

中里介山「大菩薩峠 流転の巻」原稿〈複製〉原本 日本近代文学館蔵

中里介山「大菩薩峠 めいろの巻」新聞切り抜き

中里介山『大菩薩峠』1918（大正7）年11月 玉流堂

中里介山『大菩薩峠』1919（大正8）年4月 玉流堂

『石井鶴三挿絵集』第1巻 1934（昭和9）年11月 光大社

「大菩薩峠」リーフレット 1951（昭和26）年1月 新国劇初春公演 名古屋御園座

伊藤左千夫（いとう さちお）と山梨の歌人たち

「馬酔木」第3巻第2号 1906（明治39）年2月

神奈桃村「神奈桃村日記」1906（明治39）年
「馬酔木」第3巻第6号 1906（明治39）年10月
「アラゝギ」第2巻第1号 1909（明治42）年9月
神奈桃村 岡千里宛葉書 1910（明治43）年11月3日消印
伊藤左千夫「よもつくにの道の長手をよろつたひかへりみすらむ旅の子ゆへに」短冊
神奈桃村「紫芋をかこひ穴よりとりいたし芽あるとなきを選びわかるかも」短冊
日原無限「真鏡と空澄渡りはらはらと木の葉を拂う初冬の風」短冊
岡千里「吾児等のあさいはさめず紅のはなあたらしき落つばきかも」短冊

秋山秋紅蓼（あきやま しゅうこうりょう）

秋山秋紅蓼自画賛「朝は花を一輪さしてこゝろ定る」色紙
秋山秋紅蓼「ぶどうの房」句稿
秋山秋紅蓼「うめの花枝にひらきかほり来るあさ」短冊
秋山秋紅蓼『兵隊と桜』1940（昭和15）年1月 沙羅書店
秋山秋紅蓼「俳句四格調の説」原稿〈複製〉
秋山秋紅蓼「きいろいのみものがすずしく遠ういなづま」色紙
秋山秋紅蓼「富士の稜線」原稿
秋山秋紅蓼「樺大樹を一本もち富士の白さが真向う」短冊

田中冬二（たなか ふゆじ）

田中冬二『青い夜道』1929（昭和4）年12月 第一書房
田中冬二「本栖村」色紙
田中冬二「香水の人を忘れず軽井沢」短冊
田中冬二愛用の眼鏡
「パンテオン」第2号 1928（昭和3）年5月
佐藤惣之助 田中冬二宛葉書 1929（昭和4）年12月23日
田中冬二「山峡二景」草稿
田中冬二「昔のふるさとの家」草稿
田中冬二「ふるさとにて」色紙
田中冬二「奈良田にて」色紙〈複製〉
田中冬二 深沢正志宛書簡 1964（昭和39）年4月9日
田中冬二「山郷」草稿

木々高太郎（きぎ たかたろう）

「新青年」第15巻第13号 1934（昭和9）年11月
木々高太郎「美の悲劇」原稿〈複製〉
木々高太郎『眠り人形』1935（昭和10）年4月 春秋社
小栗虫太郎 木々高太郎宛書簡 1935（昭和10）年5月15日
木々高太郎『人生の阿呆』1936（昭和11）年7月 版画社
木々高太郎「笛吹 —或るアナーキストの死」原稿
木々高太郎「笛吹 —或るアナーキストの死」原稿〈複製〉
木々高太郎『笛吹』1948（昭和23）年3月 世界社

小尾十三（おび じゅうぞう）

「文藝春秋」第22巻第12号 1944（昭和19）年12月
小尾十三『雑巾先生』1945（昭和20）年2月 満洲文藝春秋社〈復刻〉
小尾十三旧蔵 芥川賞記念品の腕時計
小尾十三「母への反抗時代」原稿〈複製〉
小尾十三『ひとりっ子の父』1945（昭和20）年2月 第三文明社

村岡花子（むらおか はなこ）

「家庭」第2巻第1号 1931（昭和6）年1月
村岡花子『随筆集 心の饗宴』1947（昭和22）年11月 花書房
村岡花子旧蔵 モンゴメリ『NNE OF GREEN GABLES』1908年（復刻）
村岡花子『赤毛のアン』翻訳原稿（複製）
村岡花子『赤毛のアン』1952（昭和27）年5月 三笠書房
映画「赤毛のアン」パンフレット 1986年 カナダ映画
ミュージカル「赤毛のアン」パンフレット 1995（平成3）年 劇団四季

徳永寿美子（とくなが すみこ）

徳永寿美子『おかあさんのおひざ』1953（昭和28）年4月 金の星社
徳永寿美子「小公子」原稿（複製）
徳永寿美子『小公子』1956（昭和31）年1月 偕成社
徳永寿美子「あんじゅとずしおう」草稿
徳永寿美子『あんじゅとずしおう』1958（昭和33）年9月 実業之日本社
徳永寿美子『うさぎのせんたくや』1966（昭和41）年10月 金の星社
「母」第6年第8号 1920（大正9）年8月（複製）原本 成蹊学園学園史料室蔵

八木義徳（やぎ よしのり）

「満洲観光聯盟報」第5巻第6号 1941（昭和16）年6月
「文藝春秋」第22巻第9号 1944（昭和19）年9月
「日本文学者」創刊号 1944（昭和19）年1月
八木義徳「胡桃」原稿
八木義徳「きげんのいい男」原稿
八木義徳「甲州と私」原稿
八木義徳「文章は血と土とそして海の風から生れる」色紙
八木義徳『母子鎮魂』1948（昭和23）年3月 世界社
野口富士男 八木義徳宛書簡 1973（昭和48）年11月15日
八木義徳『風祭』1976（昭和51）年8月 河出書房新社

武田泰淳（たけだ たいじゅん）

武田泰淳「聖女俠女」原稿
「海」第1巻第5号 1969（昭和44）年10月
武田泰淳『富士』1971（昭和46）年11月 中央公論社
司修『富士』挿絵原画エッチング
武田泰淳『司馬遷』1943（昭和18）年4月 日本評論社
武田泰淳「わが子キリスト」原稿（複製）原本 日本近代文学館蔵
映画「ひかりごけ」パンフレット
武田泰淳 檀一雄宛葉書 1972（昭和47）年6月29日消印

李良枝（イ・ヤンジ）

愛用の筆筒、文具類
ソウル大学卒業証書
芥川賞正賞の記念品
李良枝「由熙」草稿
「文藝春秋」1989（平成元）年3月
李良枝『由熙』1989（平成元）年2月 講談社
李良枝「石の聲」草稿
李良枝『石の聲』1992（平成4）年9月 講談社

辻 邦生（つじ くにお）と山梨

「海」創刊特大号 1969（昭和44）年7月
辻邦生『背教者ユリアヌス』1972（昭和47）年10月 中央公論社
辻邦生「ある生涯の七つの場所 祭の果て」原稿
辻邦生『銀杏散りやまず』1989（平成元）年9月 新潮社
辻邦生『西行花伝』1995（平成7）年4月 新潮社
辻邦生 童話集『ユリアと魔法の都』1971年12月 筑摩書房
「文藝首都」1954（昭和29）年10月
北杜夫・辻邦生対談『若き日と文学と』1970（昭和45）年7月 中央公論社
文学座公演「天使たちが街をゆく」パンフレット
モノオペラ「銀杏散りやまず」チラシ
辻邦生 大澤宏孝宛書簡 1990（平成2）年1月5日

第3室 芥川龍之介

【大川の水（誕生・少年期）】

芥川龍之介「ウエルカーム」原稿（回覧雑誌「文事の光」の一部）
芥川龍之介「義仲論」原稿「東京府立第三中学校学友会雑誌」1910年2月掲載
「東京府立第三中学校学友会雑誌」第15号 1910（明治43）年2月

【空中の火花（文壇登場）】

菅虎雄筆「我鬼窟」扁額
芥川龍之介「鼻」草稿「新思潮」1916（大正5）年2月掲載
「新思潮」創刊号 1916（大正5）年2月
夏目漱石『社会と自分』1915（大正4）年11月 実業之日本社
「新思潮」第1年第6号表紙・奥付上段原案
芥川龍之介「秋」草稿「中央公論」1920（大正9）年4月掲載
芥川龍之介『傀儡師』1919（大正8）年1月 新潮社
芥川龍之介「妙な話」草稿「現代」1921（大正10）年1月掲載
芥川龍之介『点心』1923（大正11）年5月 金星堂
芥川龍之介『支那遊記』1925（大正14）年11月 改造社

【ぼんやりした不安（苦悩と死）】

芥川龍之介筆「澄江堂十首」卷子〈複製〉原本 天理大学附属天理図書館蔵
『近代日本文藝読本』全5巻 1925（大正14）年11月 興文社
芥川龍之介『湖南の扇』1927（昭和2）年6月 文芸春秋社出版部
芥川龍之介「文芸的な、余りに文芸的な」原稿「改造」1927（昭和2）年4月掲載〈複製〉
芥川龍之介「或阿呆の一生」原稿「改造」1927（昭和2）年10月掲載

【書画の魅力】

芥川龍之介「紙窓風浙瀝」幅
芥川龍之介「新むろの畳すがしみわがをればここだしづ枝の花ぞさきけるここだほづ枝の花ぞさきける」幅
芥川龍之介 スケッチブック
芥川龍之介 自画像と句「青蛙おのれもペンキぬりたてか」
芥川龍之介水彩画 1913（明治43）年
芥川龍之介 菅虎雄宛書簡 1913（大正2）年11月17日
芥川龍之介 西村貞吉宛書簡 1922（大正11）年7月21日

【芥川の俳句】

芥川龍之介 飯田蛇笏宛書簡 1923（大正12）年12月1日〈複製〉
飯田蛇笏 芥川龍之介宛書簡 1926（昭和元）年12月29日〈複製〉 原本 個人蔵
芥川龍之介「花火」俳句草稿
「ホトトギス」1918（大正7）年9月
「ホトトギス」1919（大正8）年3月
芥川龍之介『梅・馬・鶯』1926（大正15）年12月 新潮社〈復刻〉
芥川龍之介「炎天にあがりてきえぬ箕のほこり」短冊
芥川龍之介「野茨にからまる萩のさかりかな」色紙
「雲母」1927（昭和2）年9月号

【芥川と山梨】

芥川龍之介「藤の花軒端の苔の老いにけり」幅
芥川龍之介「水虎晚帰之図」額〈複製〉
芥川龍之介「槍ヶ岳紀行」ノート 1909（明治42）年夏
芥川龍之介 山本喜誉司宛書簡 1910（明治43）年10月14日〈複製〉
芥川龍之介 山梨夏期大学講演メモ〈複製〉

【羅生門】

「羅生門」関連ノート〈複製〉
芥川龍之介『羅生門』1917（大正6）年5月 阿蘭陀書房〈復刻〉
芥川龍之介『鼻』1918（大正7）年7月 春陽堂〈復刻〉

【友への手紙】

芥川龍之介 井川恭宛書簡 1914（大正3）年1月21日〈複製〉
原本 大阪市立大学学術情報総合センター恒藤記念室蔵

【夏目漱石の手紙】

夏目漱石 久米正雄・芥川龍之介宛書簡 1918（大正7）年8月21日〈複製〉

【芥川と児童文学】

「赤い鳥」創刊号 1918（大正7）年7月
芥川龍之介 鈴木三重吉宛書簡 1919（大正8）年11月9日
芥川龍之介「杜子春」原稿〈複製〉
芥川龍之介『三つの宝』〈復刻〉

愛用のペーパーナイフ・財布
龍之介作 楽焼皿「小心火盗」
龍之介旧蔵 手帳

芥川龍之介「暑中休暇中の日記」1904（明治37）年7月21日～8月31日
「実話 昆虫採集記」原稿
映画「羅生門」ポスター 1950（昭和25）年 大映映画
「新潮」第36巻第1号 1922（大正11）年1月
「キネマ旬報」第1522号 2010（平成22）年12月
映画「羅生門」デジタル完全版リーフレット